

さぬき市在宅医療・介護連携推進協議会 令和5年度第2回会議 会議要旨（要約）

- 1 日 時 令和6年2月29日（木）18：30～20：00
- 2 場 所 さぬき市寒川庁舎 多目的ホール
- 3 出席者〔委 員〕12名
南 篤・為國真理・植村麻里・宮本明子・宇山真奈美・穴田美知子・
谷風恭子・神前政季・都築昌悟・清原真規子・辻よしみ・白井邦佳
（欠席者：防越一美）
〔委員外〕木田恵美子（大川地区医師会在宅医療介護連携支援センター相談員）
〔事務局〕真部哲男・伊藤英樹・藤田宏江
〔傍 聴〕1名
- 4 議 題 （1）令和5年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について
（2）意見交換「看取り」場面について
（3）令和6年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について
（4）意見交換「日常の療養支援（認知症の人の支援）」場面について
- 5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
(事務局)	<p>(開会)</p> <p>本協議会は、地域の医療・介護関係者等に参画いただき、在宅医療と介護連携の課題の対応策について検討することを目的として設置している。開会にあたり、南会長に挨拶をお願いする。</p>
(事務局)	<p>(会長挨拶)</p> <p>会長がこの会議の議長となるため、議事の進行は南会長をお願いする。</p>
(議長)	<p>(議事進行)</p> <p>議題（１）令和５年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について、議題（２）「看取り」場面では、評価、対応策の検討の意見交換について、事務局から説明を求める。</p>
(事務局)	<p>(事務局説明 議題（１）令和５年度在宅医療・介護連携推進事業の事業報告について、資料より説明を行う。「医療・介護関係者の研修会」では、本協議会の意見を基に、研修部会準備会で計画、運営を行ったことや、「在宅医療・介護普及啓発講演会」、「医療・介護の展示紹介」について、追加説明を行う。)</p>
(事務局)	<p>(相談員説明 「介護事業所等一覧」の様式の変更について、「医療・介護関係者の研修会」は評価を含め、追加説明を行う。)</p>
(事務局)	<p>(事務局説明 議題（２）「看取り」場面の意見交換について、目的（評価、対応策の検討）などの説明を行う。)</p>
(事務局)	<p>(グループワーク)</p>
(委員)	<p>(発表)</p> <p>１１月の研修会は、久しぶりに集合研修となったが、多くの職種の参加があり、それぞれに気になっていたことなど活発な意見交換ができた。今後も、看取りや、多職種連携について、新しい人の学びにもなる研修ができればと思う。</p>

	<p>エンディングノートは、色々な人に関わってもらい、多くの人の利用につながればよいと思う。</p>
(委員)	<p>11月の研修会では、事例をとおして実際の支援について学び、多職種と意見交換を行うことで、多くの気づきにつながった。事例から学ぶ、多職種とディスカッションする研修の意義は大きいと思う。特に若い職員(看護師)は、コロナ禍で多職種と交流する経験がなかった。今回研修会に参加した職員から、患者さんが自宅で最後を迎えたい想いに関係者が真剣に取り組んでいることを知り病院での関わり方を考えた、参加してよかったなど聞き、多職種研修をとおした気づき、学びが大きいことを感じた。在宅看取りが広まるよう、(委員)皆さんと連携を取って進めていきたい。</p>
(議長)	<p>議題(3)令和6年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について、議題(4)「日常の療養支援(認知症の人の支援)」場面について、事務局から説明を求める。</p>
(事務局)	<p>(事務局説明 議題(3)令和6年度在宅医療・介護連携推進事業の事業計画について、資料より説明を行う。議題(4)「日常の療養支援(認知症の人の支援)」場面の意見交換について、認知症に関わる市の状況や、議題とした理由、意見交換の目的(課題の共有、対応策の検討)などの説明を行う。)</p> <p>(グループワーク)</p> <p>(発表)</p>
(委員)	<p>ケースにより、様々な症状や人間関係があり、こう支援したらよいが見つからない。老々介護の問題や、介護を必要とする期間も長く、家族の介護負担は大きい。地域のサポートも必要となる。</p> <p>支援が難しいケースもあり、少しずつ顔なじみになって、当事者の視線で関係づくりをしながら、信頼関係をつくっていくことが必要になる。</p>
(委員)	<p>認知症状がある人をどこにつなげればよいか迷うケースがあった。地域にそういうケースは多いと思う。</p> <p>認知症の人の薬の支援が難しい。</p> <p>認知症の人の意思決定支援についての学びがある。地域の理解も大切になる。</p>

	<p>初期の認知症の人の対応や支援が難しい。介護保険サービスにつながらない人も多く、認知症初期集中支援チームの周知など認知症になっても支援してくれるところの周知も必要ではないか。</p> <p>「認知症の人のSOS」のような気軽に相談できる場所があればよい。身近なところで相談、変化に気づけるとよい。</p> <p>民生委員や消防、警察なども情報共有できるとよい。個人情報の問題はあるが、どう連携するか考えていく必要がある。</p> <p>本人は病気の受け入れや認識が難しく、家族の介護負担は大きい、どう支援していくか、研修の一つとしてできればよい。</p> <p>(総評)</p>
(委員)	<p>認知症の人、周囲の人でも色々で、支援者がこうしたらよいと思っ ても、当事者にしてみれば迷惑なことであったりもする。このことは忘 れな いようにしたい。</p> <p>認知症の初期の段階で周りの人が早めに気づいて、何らかの支援につ なが ることが大切だと思う。</p>
(委員)	<p>本日発表のあった内容が、認知症の人の支援について、本当に感じて いる ところだと思うので、解決できるような研修ができればと思う。</p> <p>事務局をお願いとして、市の計画に基づいた事業であると思うが、ど の 部分に位置づけられるのかをもう少し明確にしてもらいたい。研修をする ときは、目的、目標を明確にし、やっただけにならないよう評価につな げ ていくこと、現場の声を計画の目的、目標にいれてもらおうとわかりやす く 効果として見えるのでお願いしたい。</p> <p>認知症の講演会では、認知症サポーターのリボンなど見える印象も考 え てもらえればと思った。</p>
(議長)	<p>その他、「在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱」について、事務局よ り 説明を求める。</p>
(事務局)	<p>「在宅医療・介護連携推進協議会設置要綱」の一部改正について、令和 6 年4月より、協議会委員の任期を3年とし、協議会に部会を設置できる と して、研修部会の設置を予定している。</p>
(議長)	<p>質問などあればお願いします。</p>

	(意見、質問なし。)
(議 長)	連絡事項があればお願いします。
(事務局)	令和6年度介護予防教室(いきいき健康教室)について、案内する。
(議 長)	以上で本日の議事を終了する。
	(閉会)
(事務局)	協議いただいた内容は、大川地区医師会、東かがわ市と連携しながら今後の事業運営に取り入れていきたい。 委員の就任について、現在の任期が令和6年3月までになる。新委員就任の依頼は、各団体、所属長あてに、3月中旬頃に送付を予定している。 次回協議会は、5月頃を予定している。 以上で、令和5年度 第2回さぬき市在宅医療・介護連携推進協議会を終了する。